

# イカナゴ情報 No. 1 (2014年6月)

平成 26 年 6 月 30 日

稚内水産試験場調査研究部 (担当: 美坂) Tel. 0162-32-7166

## 漁獲物標本測定: 体長 23~25 cm 主体, 15 cm 前後が混じる

過去 5 年の 6~9 月および今年 6 月の漁獲物サイズ組成を図 1 に示します。例年 6 月の漁獲物は体長 20 cm 以上の大型魚が主体となっています。

今年 6 月 (2 日, 9 日, 18 日の 3 回) の漁獲物は昨年と同様に体長 23~25 cm の大型魚が主体となっていましたが, 小さい割合ながら体長 15 cm 前後の小型魚も見られました。

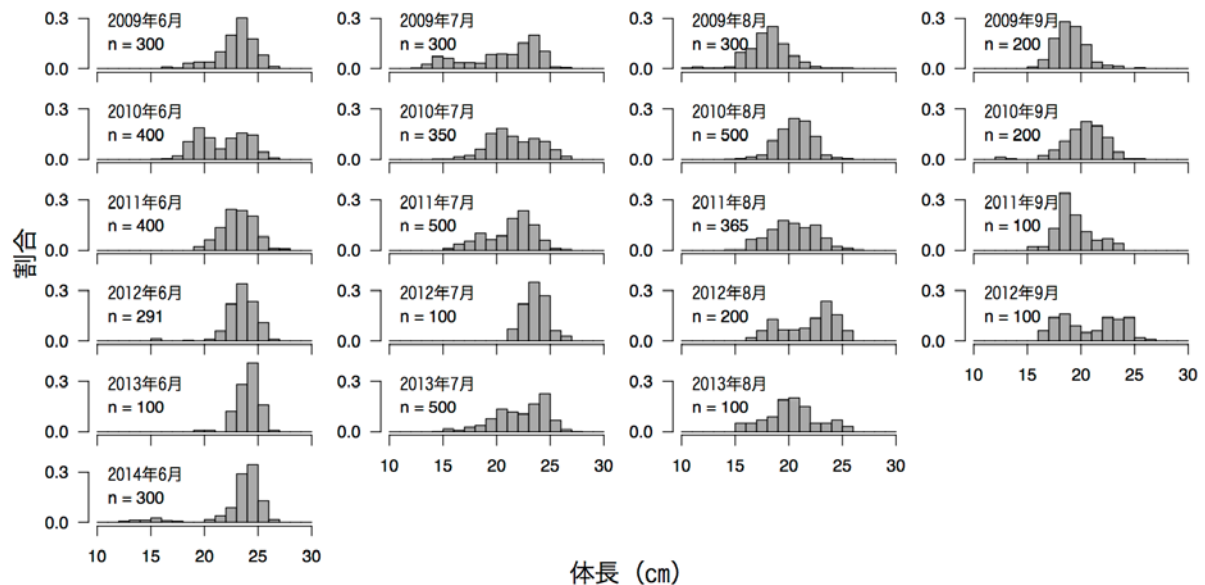


図 1. 稚内港に水揚げされたイカナゴ漁獲物の体長組成 (n: 標本測定尾数).

## 水温・魚探観測: ポケット漁場周辺における 6 月の底層水温は昨年より高かった

宗谷岬東方海域において, 6 月 25 日に水温観測を実施しました。観測定点 0A10 (通称ポケット漁場周辺) における底層水温は 6.7°C (図 2) で, 昨年 6 月 28 日の 5.2°C より高くなっていました。魚探観測では, イカナゴの群れと思われる棒状反応が水深 70~90 m で多く観察されました (図 3)。

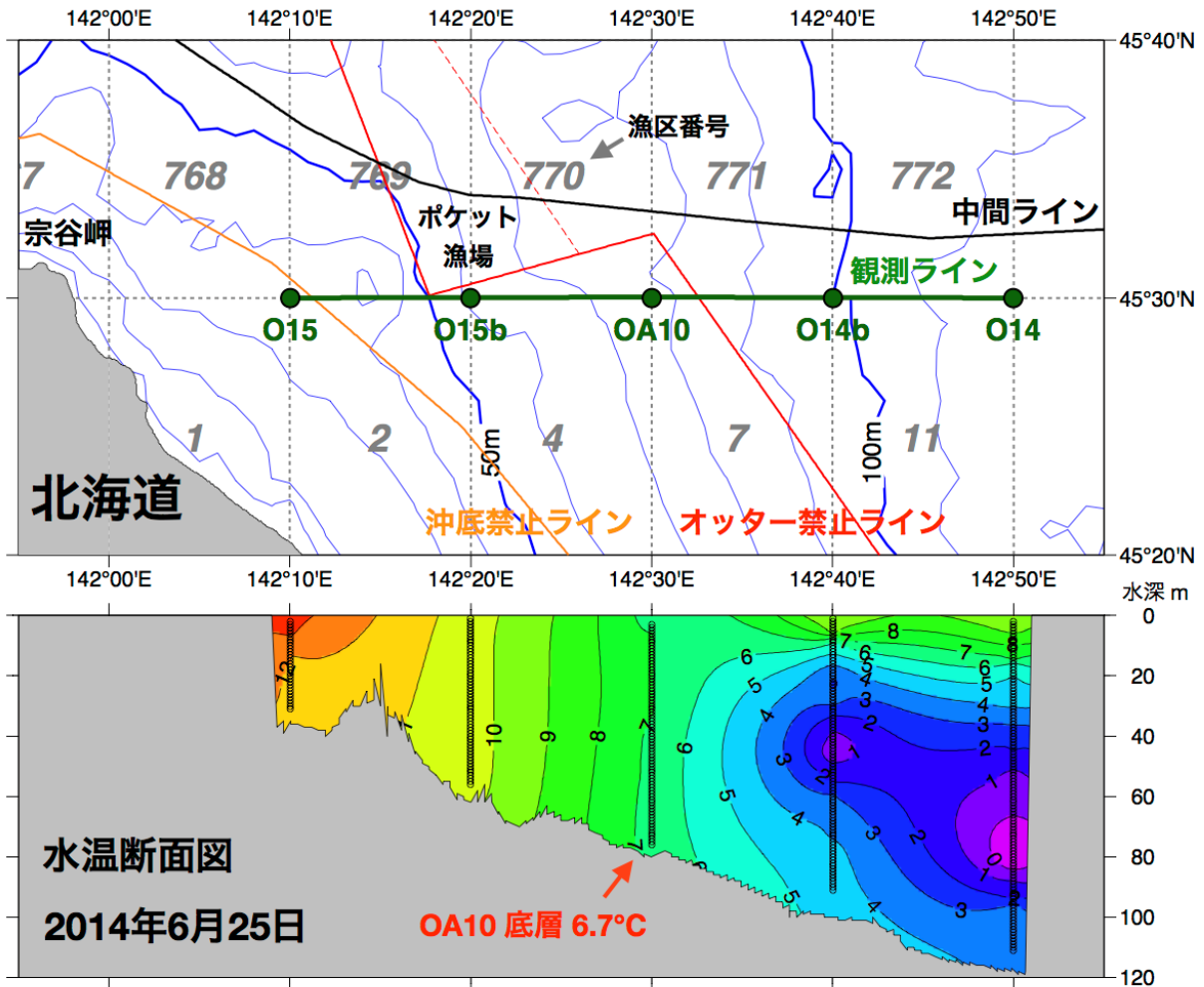


図2. 水温・魚探観測ラインの位置（上）と水温断面図（下）.

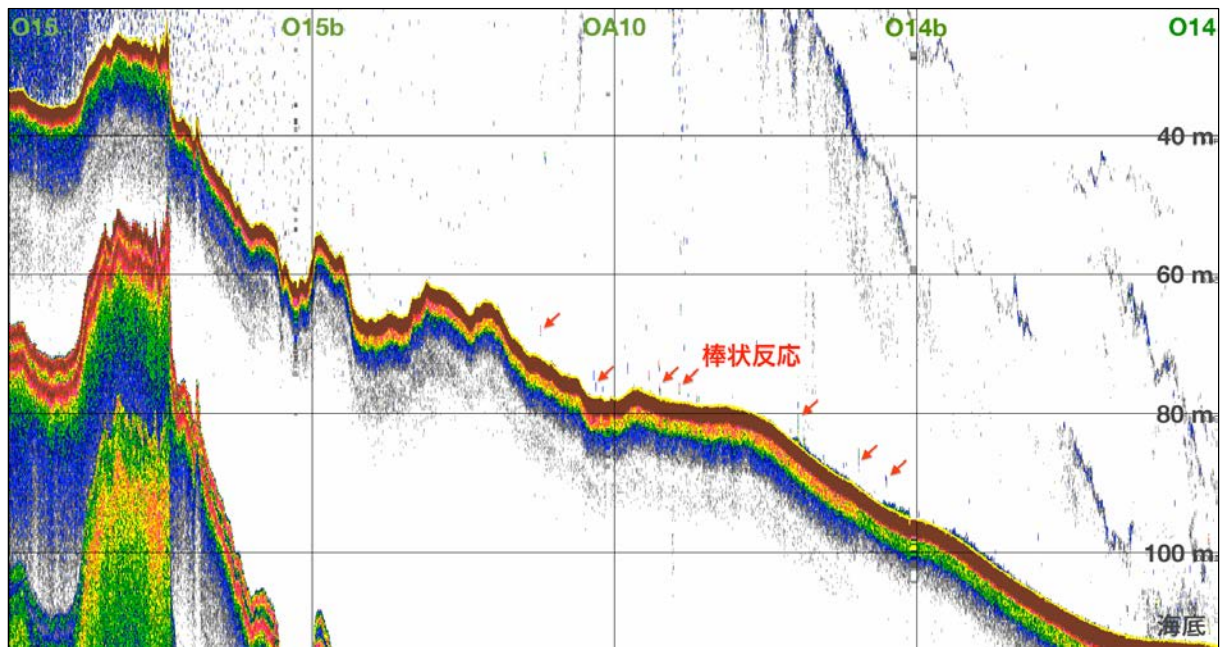


図3. 魚探画像：6月25日20～24時観測（O15～O14ライン）.